

Management Club Report

Jan.2006/Vol.37

Monthly Opinion 効果的な顧客対応を再考する

関係ありませんが、ライブドア事件について少し言わせてください

世の中に小説や映画・ドラマなど下手なフィクションなど必要ないかのよう
に、次から次へと新しい事件が起き、連日テレビ報道に釘付けとなるような状
態になっています。

耐震偽装事件やライブドア事件など、いずれも不当な利益追求をもくろんだ
末の違法行為による事件ですが、その報道の過熱振りには驚かされます。すべ
ての地上波放送局でほとんど同じ内容と同じ映像を使って同じ手法で、そして
同じトーンで毎日トップ報道しています。特にライブドア事件の方は東証のシ
ステムをマヒさせるほどの社会的影響力を持っていたということでトップニュ
ースになっていたのですが、逮捕者を拘置所に移送するところを、ほとん
どのテレビ局が陸と空から実況中継しているのを見たとき、まるで国家転覆を
図ったスパイかテロリストでも捕まえたのではないかと錯覚するほどでした。
同じようなことが中東などの戦時下にある国で起こったとしても、日本ほどの
大騒ぎにはならなかったのではないのでしょうか。ある意味では日本の平和振り
を物語っているようにも感じました。

誰であったか検察上がりの識者のひとりが「悪ノリの子どもが起こした経済
事件にマスコミが大騒ぎし過ぎ」と苦言を呈していましたが、好調なときは好
調なときで、疑惑が発覚したらしたで、掌を返したように常に“売れ筋”を追
い求めるメディアの報道姿勢には些か疑問を感じてしまいます。

ライブドア社が近鉄球団買収に名乗りを上げたとき、それに断固反対する老
舗球団のオーナーをマスコミ各社は「傲慢」「老害」とこき下ろし、30歳そこそ
このライブドア社長を「プロ野球界の古い体質を打破する新しい力」とこぞっ
て持ち上げていましたし、既成概念に囚われない青年実業家と新興IT企業に
よる斬新なアイデアが、プロ野球界を再生させるかのような論調であったこ
とを思い出します。

今となっては頑迷な老オーナーの見識の正しさが証明されたことになりませ
が、同時に自民党執行部の洞察力不足も見事に露呈されてしまいました。「既成
概念に囚われない」経営姿勢を自らの改革路線にオーバーラップさせ有効活用
しようとしたのでしょうか、世界有数の経済大国を率いるリーダーとしては軽
率の謗りは免れないでしょう。

わが国の経済や財政の将来を託された学者出身の国務大臣が、最大級の賛辞で
選挙応援している姿が放映されるたび、一介の新興企業が急成長する実態と